

2007.12.2 曇り時々晴れ 百里ヶ岳 A舎例会



南谷への標識

923 中小屋 943 木地山峠分岐
1040 谷を終え尾根に 1149 稜線
1209-1238 シチクレ峠昼食
1251 根来坂峠分岐
1308-1327 山頂 1421 木地山峠
1427-1511 峠下でコーヒー
1527 木地山峠 1623 北谷分岐
1641 中小屋



南谷後半の登り



尾根に取り付く

南谷のルートはところどころにテープがあるが、上部ではテープも踏み跡もなくなる。進行方向左手の尾根に取り付き、P 805 とシチクレ峠の中間あたりの稜線に。シチクレ峠にて昼食。風はなく、寒いことはないが、防寒衣は必要。

稜線歩きで右手に百里ヶ岳を望むことができる。根来坂峠の分岐を過ぎると、北東側に駒ヶ岳、三重嶽、武奈ヶ嶽など高島トレイルの山並みなどを見ることができる。

山頂で記念写真を撮り、木地山峠を目指す。歩きやすいブナ林だ。新緑や紅葉が大いに期待できる雰囲気がある。



シチクレ峠



遠く、武奈か三重嶽



山頂



木地山峠



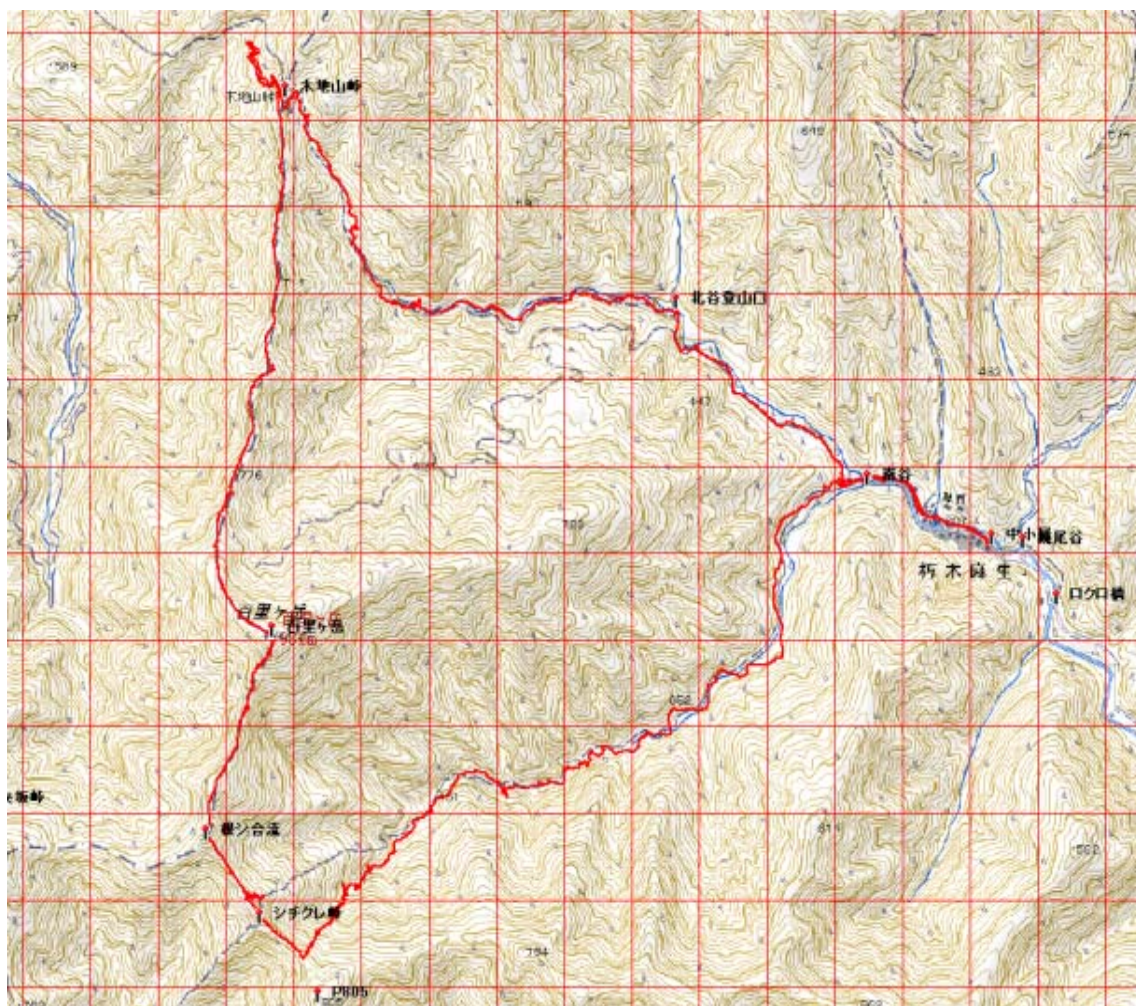
峠より若狭側に少し下る



大きな栃の木

木地山峠から若狭側に下り、葉のないブナ林でコーヒータイムをとった。峠に戻り、北谷を降りた。踏み跡がしっかりしており、危ないところもない。ところどころにある、大きな栃の木や、穴のある木など写真を撮りながら、林道に。

紅葉も終わり、葉の落ちた木が目立つ山行でした。常緑樹があまりないので、新緑や紅葉が大いに期待できるコースであった。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。